FUYO LEASE GROUP

2025年1月14日

News Release

芙蓉総合リース株式会社
（コード番号：8424 東証プライム）
代表取締役社長　織田　寛明

「芙蓉サーキュラーエコノミーリース®」寄付実施のお知らせ

芙蓉総合リース株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 織田寛明、以下「芙蓉リース」）は、「芙蓉サーキュラーエコノミーリース®」（以下「芙蓉ＣＥリース®」）に係る初めての寄付を実施しましたのでお知らせいたします。

2023 年 3 月よりサービス提供を開始した芙蓉ＣＥリース®は、リース会社に返却された物件を確実にリユース・リサイクルし、製品寿命の長期化と資源再生の向上を図ることでサーキュラーエコノミーを推進する取り組みです。芙蓉ＣＥリース®をご利用されたお客様に循環型社会の構築に参加する機会を提供いたします。

また、芙蓉ＣＥリース®取扱額の一定割合について、サーキュラーエコノミーを推進する諸団体へ定期的に寄付を行い活動を支援することでサーキュラーエコノミーの普及促進に貢献します。初回となる今回は以下の団体へ寄付いたしました。

≪寄付先≫
一般社団法人循環経済協会

当協会は、限りある天然資源を有効活用しながら持続的に発展可能な「循環経済社会」の実現に向けて、「循環経済型ビジネス」の開発・実装を推進するため、ISO/TC323※に関わるメンバー等が中心となって 2021 年 2 月に設立された団体です。設立以降、業界の垣根を超えた活動を主眼に置き、素材・製品の生産、販売、処理、再資源化等に携わる企業が網羅的に当協会に加盟しております。今回の寄付金はサーキュラーエコノミーに関連する活動を推進するための費用としてご活用頂きます。



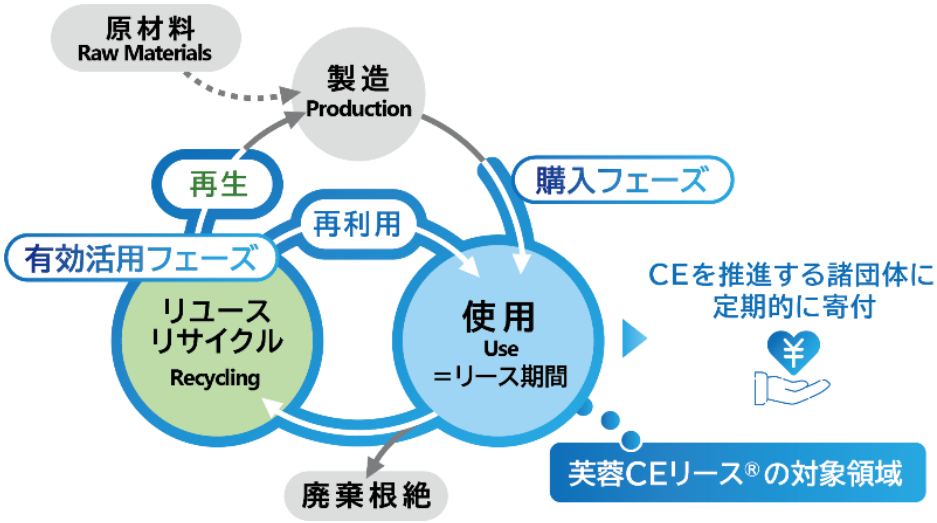
一般社団法人循環経済協会
代表理事/会長　中村　崇様（左）

芙蓉総合リース株式会社
常務執行役員　佐々木　幹（右）

※ 国際標準化機構(ISO)において、「持続可能な開発への貢献を最大化するため、関連するあらゆる組織の活動の実施に対する枠組み、指針、支援ツール及び要求事項を開発するための循環型経済の分野の標準化」を行うため、2018 年にフランスの提案により設置された専門委員会(TC323)。日本を含む約 100 ヵ国が本委員会に参加し、活動しています。

芙蓉リースグループは、2022 年度からスタートした中期経営計画「Fuyo Shared Value 2026」において、ＣＳＶ（Creating Shared Value：共有価値の創造）の実践を通じた社会課題の解決と経済価値の同時実現により、企業グループとして持続的な成長を目指しております。また、「サーキュラーエコノミー」を経営資源を集中投下する成長ドライバーのひとつに位置づけ、リース事業の枠を超えたサーキュラーエコノミーのプラットフォーマーとなるべく事業領域の拡大に取り組んでいます。今後も芙蓉ＣＥリース®の推進に力を入れ、お客様とともに循環型社会の実現に向けた取り組みを進めてまいります。

◆芙蓉ＣＥリース® 概念図



＜関連プレスリリース＞

・お客様のサーキュラーエコノミーへの参加・貢献を可能にする日本初の「サーキュラーエコノミーリース」のリリース、及びシンジケーション方式ＤＢＪ-対話型サステナビリティ・リンク・ローンの実行(2023 年 3 月 31 日)
https://ssl4.eir-parts.net/doc/8424/tdnet/2257263/00.pdf

・「サーキュラーエコノミーリース」の普及推進を目的とした業務提携契約を締結
～全国各地を拠点とするリース会社６社と業務提携～(2023 年 9 月 15 日)
https://ssl4.eir-parts.net/doc/8424/tdnet/2337663/00.pdf

・第５回「ＥＳＧファイナンス・アワード・ジャパン」資金調達者部門 環境大臣賞(銀賞) および サーキュラーエコノミー賞 受賞(2024 年 2 月 20 日)
https://ssl4.eir-parts.net/doc/8424/tdnet/2401204/00.pdf

以上

お問い合わせ先
芙蓉総合リース株式会社　コーポレートコミュニケーション室　（担当）山﨑
電話番号：03（5275）8891　　URL：https://www.fgl.co.jp/